

第1章 総論

1 策定の目的

下水道は、私たちの生活の安心・安全を守るとともに、快適に暮らすために一時も休止することが許されない大切な都市施設です。

施設の老朽化の進行や使用料収入の伸び悩み等、下水道事業を取り巻く環境が変化中、下水道に求められる本来の役割を果たし、次世代へ良好な生活環境や社会基盤施設を引き継ぐためには計画的・安定的な事業運営が求められます。

「札幌市下水道事業中期経営プラン2015」は、将来を見据えながら、今後5年間の下水道事業を計画的・安定的に実施することを目的として策定したものです。



イラストはイメージです

下水道事業を取り巻く環境の変化

■下水道機能の維持について

昭和40年代から50年代に集中的に整備を行ってきた多くの下水道施設は老朽化が進行し、札幌市の下水道事業は、「整備」の時代から「維持管理」そして、本格的な「改築」の時代を迎えつつあります。今後は、より効率的かつ効果的な維持管理や改築に努め、将来にわたり確実に下水道機能を維持していく必要があります。

■下水道機能の向上について

大雨による浸水や大規模な地震といった自然災害への備えや、河川水質の保全といった課題に対応するため、下水道機能の向上が必要となっています。

■環境負荷の低減について

下水道事業は、水処理や汚泥^{*}処理の過程で多くのエネルギーを使用する一方で、処理水や汚泥など、利用可能な資源を有しています。地球温暖化が進行中、今後も環境負荷の低減に積極的に取り組む必要があります。

■経営環境の変化への対応について

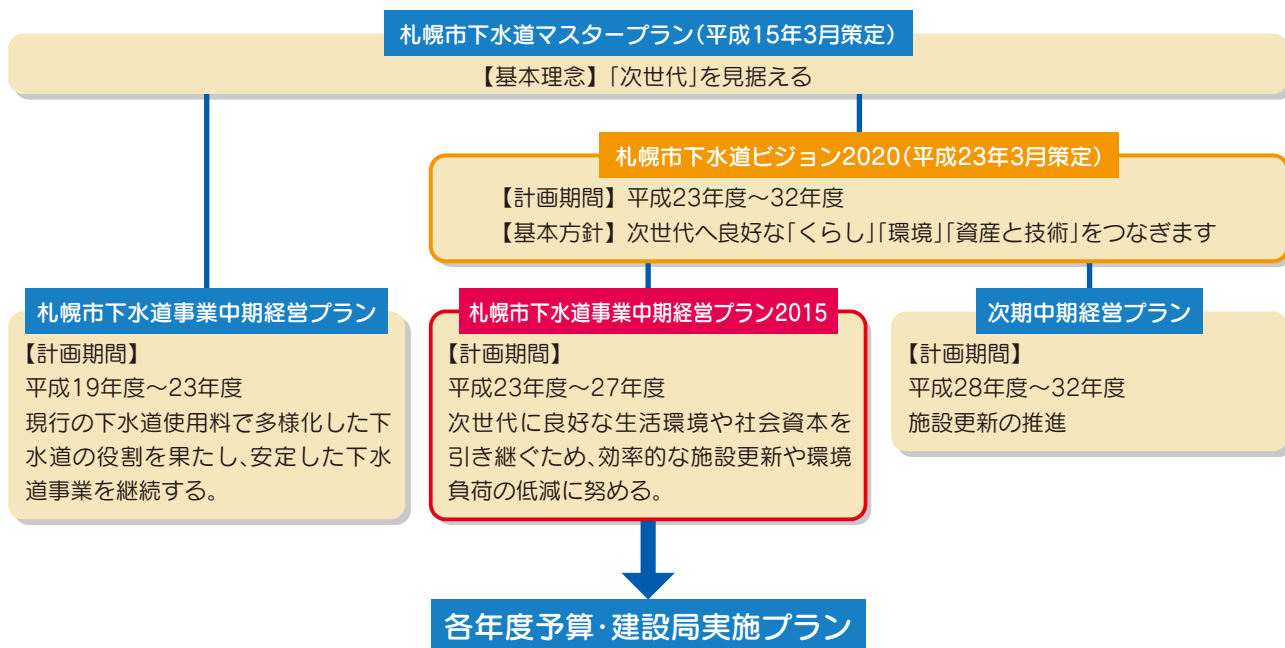
多種多様な役割を担っている下水道事業を、将来にわたり、安定的に運営していくためには、多くの財源と人材が必要となります。使用料収入の伸び悩みやベテラン職員の退職の増加などの課題を抱える中、今後も、より一層の経営の効率化や人材育成に取り組む必要があります。

2 位置づけ

札幌市では、平成15年3月に、21世紀における札幌市の下水道が目指すべき方向性を示した「札幌市下水道マスタープラン」を策定し、札幌市の下水道事業の長期指針として位置づけています。

また、平成23年3月に策定した「札幌市下水道ビジョン2020」は、マスタープランで掲げた基本理念に基づき、近年の社会情勢の変化等を踏まえて策定した、今後10年間の札幌市の下水道事業の中期的なビジョンです。

「札幌市下水道事業中期経営プラン2015」は、ビジョンで掲げた目標を具体的に実現するための5年間の行動計画（アクションプログラム）として位置づけています。



3 基本方針と基本目標(下水道ビジョン2020より)

「札幌市下水道ビジョン2020」で掲げた、以下の基本方針と基本目標に基づき、具体的な取組を進めます。

基本方針

次世代へ良好な「暮らし」「環境」「資産と技術」をつなぎます

基本目標

1 安全で安心な市民生活を維持します

適切な維持管理と計画的な改築により、汚水処理機能を保持するとともに、浸水や地震などの自然災害への対策を進め、安全で安心な市民生活を維持します。

2 環境に与える負荷の低減に努めます

汚水処理の高度化や合流式下水道の改善※により、清らかな水環境を創出するとともに、温室効果ガスの排出量削減や資源の有効利用により、環境に与える負荷の低減に努めます。

3 健全で持続可能な経営を目指します

人材育成や経営効率化策などの取組を通じて、経営基盤を強化し、健全で持続可能な経営を目指します。

4 中期経営プラン2015の体系

基本目標の達成に向け、「事業計画」「財政計画」「運営の視点」ごとに具体的な取組内容を定めます。

	基本目標	施策目標	施 策
事業計画	安全で安心な市民生活の維持	下水道機能の維持 ----- 災害に強い下水道の実現	下水道施設の維持管理 下水道施設の改築・再構築 ----- 雨水対策 地震対策
	環境に与える負荷の低減	清らかな水環境の保全と創出 ----- 低炭素・循環型都市※の実現	合流式下水道の改善 処理の高度化の推進 ----- 地球温暖化対策 下水道資源の有効利用
財政計画	健全で持続可能な経営	経営基盤の強化	財務体質の強化 人材の育成
運営の視点	【市民参画の推進】 情報共有と市民参加		

5 5カ年の取組方針

平成23年(2011年)から平成27年(2015年)までの5年間は、次の4つの取組方針を掲げ、下水道事業を計画的に運営します。

取組方針 1

老朽化が進行する施設の状況把握に努め、**ライフサイクルコスト※**の最小化を目指した修繕・改築を行います。

取組方針 2

省エネルギーの推進や新エネルギー※の導入に努める等、積極的に環境負荷の低減に努めます。

取組方針 3

限られた財源・人材で安定的な事業運営を行うため、**事業の選択・集中や効率的な執行体制の構築**に努めます。

取組方針 4

市民の信頼に応え、ニーズに合った効果的な事業運営を行うため、**広報・広聴活動の充実**に努めます。